

地球を守ろう！ 環境活動家 谷口たかひささん

気候危機

お話し会 @ 稲武交流館 (豊田市稲武町竹ノ下 1-1; 電話番号: 0565-83-1007)
<https://www.city.toyota.aichi.jp/shisetsu/kouryukan/kouryukan/1029344/index.html>

【日時】 2021年4月13日(火) 11:00~13:00

【定員】 30名まで(要予約)定員なり次第締切

【参加費】無料(多くの方にお越しいただきたいという谷口さんのご希望で無料としていますが、お志を頂ければ、経費を引いて交通費・宿泊費としてお渡ししたいと思います。ご協力をお願いいたします。)



プロフィール

1988年、大阪府門真市生まれ。関西大学を経て、マンチェスター大学へ留学。在学中にインターネットビジネスで起業。現在はグローバルIT企業の役員(株式会社Freewill, COO)を務めながら、社会課題解決を志し、ドイツへ移住/起業
気候危機/自由と権利を講演(年515回)

●『地球を守ろう』代表

止まらない環境破壊、人々の無関心。
世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて
1.5°Cに抑えなければ、
私たちは生きていけなくなる。

地球と向き合う残された時間は、あと4年程度とも言われています。
皆が知れば、必ず変わる！世界は変わる！
小学生も分かる内容のお話し会です。

【企画の思い】谷口たかひささんは、2019年夏、イギリスのBBC放送で2020年が地球を救うターニングポイントとなる年だと知り、行動を起こすことを決意します。この年の9月から、彼は日本の47都道府県をまわりはじめます。私は、20年1月に講演を録画したDVDのひとつを見ました。想像以上の気候変動のすさまじい勢いとともに、映像で紹介された、この危機に対して果敢に行動するヨーロッパの若者たちや市民の姿に、驚きました。日本人があまりに暢気すぎることに愕然としたのです。

温暖化による気候変動に関して、日本のマスコミでは、ほんの一部を断片的に取り上げるばかりで、欧米の人たちが真剣に危機感を持ち、行動に移している姿すら取り上げることはほとんどありません。しかし、谷口さんは、知らないということを否定的にとらえるのではなく、「知れば変わるということだ」と言います。だから彼は、日本中を回ってお話しているのです。

今、私たちは、豊かな地球を次世代に渡せるかどうかの瀬戸際に立っています。後代のひとたちから「あのときの大人たちが豊かな地球を使い切ってしまったのだ」といわれないために、わたしたちのできることは何か、一緒に考える機会にしていただけたらとおもって、このお話し会を企画しました。フェアトレード・ショップ風”s野入店 土井ゆきこ

【お申込・お問合せ】 民家カフェ「風の庭」内フェアトレード・ショップ風”s野入店 【主催】「風の庭」くらぶ
090-8566-2638 huzu@huzu.jp 土井ゆきこ

申し込みフォームはこちらから→ <https://ssl.form-mailer.jp/fms/3640580e697476>